



令和6年和歌山保護司会新年会



新年のご挨拶

和歌山保護司会会長

小川 史乗



令和六年一月十六日(火) 『アバローム紀の国 鳳凰の間』にて、令和二年以来四年ぶりに和歌山保護司会新年会を開催させて頂いたことが出来ました。

令和六年は、元日から能登半島で発生した最大震度七の震災で、沢山の方々がお亡くなりになるといいう、悲しい年の始まりとなりました。

このような時期に新年会を開催し、お祝いをするためにためらいも有りましたが、この様な時だからこそ、私たちが今出来ることをしなければとの思いで開催をいたしました。

和歌山市副市長・和歌山市市議会副議長・和歌山市教育長や和歌山市の幹部職員の皆様方には、公務ご多忙の中をご来賓としてご出席をいただき、また、日頃ご指導をいただく保護観察所 豊島所長を

第57号

発行責任者：
和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司
TEL：073-460-9298
FAX：073-425-1301
Email：
saposen_w@ares.eonet.ne.jp
H.P：
http://wahokai.sakura.ne.jp/saposen/

はじめ職員の方々にご参加をいただき、更生保護団体の皆様方と共に、有意義な新年会が開催出来ましたことを、心より感謝申し上げます。

更生保護団体の『社会を明るくする運動』が目標とする『犯罪や非行のない安全で安心できる 明るい地域社会づくり』を目指して、なお一層の努力をしなければと、決意を新たに新年会が開催出来ましたことを、御礼申し上げます。



各部会総会

令和6年1月16日アバローム紀の国で実施しました。各部会長の司会進行で、令和5年度の事業進行状況や、感想・反省点、次年度への課題等について、熱心に話し合われました。



総務部会



研修部会



犯罪予防活動部会



協力組織部会

社会を明るくする運動作文コンテスト表彰

31回目となる作文コンテストの表彰式が12月26日合同庁舎5階で行われ多数の県下応募作品の中から20名の小中学生が受賞されました。

中央推進委員会では、日本更生保護女性連盟理事長賞を「誰もが誰かの支えになる社会を」の丸山清良さん、日本BBS連盟会長賞を「大切な心を守りたい」の坂本陽さんが受賞されました。これらの作品はWBS和歌山ラジオ放送「しそまるの全開！金曜日」で朗読放送されました。



スタジオ放送中



第3期地域別定例研修

テーマ：生活環境調整

対象者が矯正施設収容中から、改善更生と社会復帰にふさわしい生活環境を整えること。社会復帰する場、スタート地点をを確保することにより、刑務所・少年院の中で生きる意欲、矯正教育の効果を高めることができる。生活環境調整の大切さについて改めて学ぶことが出来ました。



東 西
南 北



和歌山保護司会合同研修会

2月14日、北コミュニティーセンターにて和歌山保護司会合同研修会を開催し、講師に和歌山県福祉保健部健康局薬務課、榎本章様をお招きして「薬物乱用防止について」ご講義いただきました。

内容は、1.カフェインについて 2.市販薬について 3.薬物乱用についてでした。

眠気を覚ます為にエナジードリンク等を過剰に摂取し、知らないうちにカフェイン中毒になる事や、高校生における市販薬乱用の経験率が過去一年間で大麻の約10倍になっている事。令和5年に和歌山県全体で、覚せい剤と大麻の検挙数が逆転し大麻の方が多くなっている事。SNSなどを通じて薬物の入手が簡単になり、薬物乱用は身近な問題である事などお話ししていただきました。

今回、薬物に関するお勉強をさせていただき、これからの活動に参考になる研修会でした。

東支部 沼井 健次



退任保護司

和歌山の保護司会を牽引されてこられた小西前会長が定年退任されました。平成21年から東支部長、平成25年からは和歌山保護司会長、和歌山県保護司会連合会長、近畿地方保護司連盟副会長、社団法人全国保護司連盟評議員を歴任され平成30年に瑞宝双光章を受章されました。

また、令和4年に全国保護司連盟より保護司組織運営功労表彰を受けられました。サポートセンター和歌山の設立当初より運営に携わり長年、保護司会活動にご尽力頂きありがとうございました。お世話になりました。

ボランティアを始めるきっかけは、和歌山市へ移住した25歳の頃、当時は今と違って子どものクラブ活動が活発な時でした。子どもが幼稚園デビューの頃、私の近くには幼馴染と言える人がいなく、近隣の方と親しくして子育ての相談相手さがしで子どもクラブへ入会。

その後は50歳のころ地域の方に推薦され保護司、委嘱された当時は事件の数も多く、一時は5人の対象者を受け持つこともありました。忙しいばかりで「ちゃんと」指導できたかと不安な事ばかりでした。順風満帆で更生の道を進んでくれた人も有りましたが、時には再び「やんちゃ」をしてくれる人もいました。そんな時はこんな指導でいいのかな、これで正しいのかと省み、観察官や同僚保護司に相談し、迷惑かけっぱなしの保護司活動でした。端折りますが、ボランティアを始めて半世紀、この間ご指導いただきました方々に厚い熱いお礼を申し上げながら退任致します。本当にありがとうございました。

小西 健之

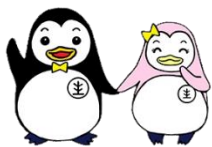
令和5年11月、12月に退任された保護司の方におかれましては、長い間お世話になり、ありがとうございました。お疲れさまでした。



氏名	地区	委嘱年月日	従事年数
小西 健之	東支部	平成9年11月16日	26年
瀬藤 祝夫	東支部	平成17年11月16日	18年
辻岡 悦治	東支部	平成6年11月9日	29年
松本 貞夫	東支部	平成20年11月9日	15年1ヶ月
山崎 秀樹	東支部	平成24年5月25日	11年6ヶ月
中村 民義	西支部	平成19年11月16日	16年
上川 二三雄	南支部	平成11年11月16日	24年
木綿 良介	北支部	平成25年11月16日	10年
白坂 登志子	北支部	平成27年11月16日	8年

新任保護司

令和5年11月16日(火)に5名の方が委嘱されました。これからよろしく願いいたします。



これまでの様々な人生経験を活かし、微力ではありますが一人でも多くの人が更生できるよう頑張っています。



草分 裕之
西支部
研修部

対象者から聞きとりで問題点を見つけ整える。不安でいっぱい。先輩方の優しい声掛けで助けられます。ご指導よろしく願いいたします。



吉本 佳江
東支部
総務部

仕事と両立できるか心配でしたが、活動を通して、自分自身も成長できれば」と思います。先輩方、ご指導の程、よろしく願いいたします。



北川 利枝子
北支部
研修部

徒に年を重ねてきましたが、世の中のお役に立てる機会をいただきしっかりと務めたいと思います。よろしく願いいたします。



山崎 一生
南支部
犯罪予防活動部

人生で一番悲しかったのは出所したとき誰も迎えに来なかったという方がいた。マザーテレサが美しいと言った神のことば「たとえ、母が我が子を忘れても、忘れうることがあっても、私は忘れない」



小谷 浩二
南支部
研修部

西支部県外研修

法務省見学

西支部は、令和6年1月28日～29日に県外研修として、東京へ行ってきました。研修テーマは、保護司活動をしている間に一度は、法務省を見学させて頂くこと。

法務省に着くと、職員の方が私達一行にずっと付き添って下さり、歓迎を受けているように感じました。

押切法務省保護局長を表敬訪問し、局長室の15階からの景色を見ながら保護司の来省を喜んで下さった事は、感慨深い思いでした。

国の重要文化財に指定されている、赤れんが棟にある法務資料展示室を見学した後、保護局総務課恩赦係の方から「恩赦について」講義を受け、質問にも丁寧に答えて下さり和やかな約30分でした。その後、20階にある職員食堂で、皇居を眺めながら定食やカレーに舌鼓を打ちましたが、驚いたことにこの食堂、後3日で閉鎖されるとの事で最後の食べ納めということでした。

この法務省見学に、お骨折り頂きました水野保護観察官に感謝申し上げます。

衆議院第一議員会館訪問、東京見物と楽しく有意義な研修会でした。

西支部 中村 咲子



保護局長室にて



新任さんいらつしやうい

和歌山南支部で雑賀地区を担当しております、田村朋也と申します。

早いもので保護司に委嘱されてから気がつけば3年が経過し4年目になっておりました。

今回「新任さんいらつしやうい」という企画に参加させて頂き初めてサポセンにお邪魔することになりました。

ちようどこの企画の案内をいただいたときは対象者の方と接することもなく、担当事件を1件も担当していない時でしたので「何の話をしようかな・・・相談するようなのかな・・・」などと思いつながら参加しました。

実際参加してみると経験の長い保護司さんからの経験談や同期の方々のお話は大変参考になり、この直後に保護観察の案件を担当することになって経験してみないとわからないことも多いなと感じました。

対象者の方は性格も人それぞれですが置かれている環境もそれぞれで、初めて事件を担当したあとに思うところは対応するこちらが定型的なやりとりをするわけにもいかないため同じ保護司同士の情報共有というのが重要になるなあと感じております。

南支部 田村 朋也





和歌山保護司会総会

令和6年5月14日(火)
アバローム紀の国

・総会 15時~16時半
・懇親会 17時~

*詳細は送付するハガキでご確認
ください

各支部定例総会及び

第1期地域別定例研修

東支部	令和6年4月22日(月)
西支部	令和6年4月24日(水)
南支部	令和6年4月25日(木)
北支部	令和6年4月23日(火)

*詳細は各支部の案内等でご確認
ください

*所属支部の研修日に都合がつか
ず出席できない方は、事前に支
部長に申し出て他支部の地域別
研修に参加をお願いします

生駒保護司会意見交換会

2月16日に生駒保護司会より
13名の方々がサポートセンター
にお越しになり意見交換会を実施
しました。最初の計画からコロナ禍
の真ん中となり5年越しの実現
となりました。活発な意見交換と、
懇親会で親睦をはかることができ
ました。



計報

神前 純造 様 (南支部)

ご生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し
上げます

サポートセンター和歌山
俳句教室作品

選者 「森 幸子」

四神の名拝借十年前句会
初詣笙の音色のおごそかに
初刷や先ずの一番俳句欄
冬帽子目までかぶされバギーの子
木守栉天空の里なほ高し
久々に紅濃くさすや初鏡
裸電球つづく祠へ初詣
紅白の葉ぼたん芯に寄せ植す
不揃ひに脱ぎしブーツが凭れ合ふ
山茶花の垣根古民家浮き立たす

森 幸子
乾 三千代
大竹 有美
乙井 八重子
小西 健之
坂本 記美子
坂本 漸
杉谷 睦夫
得津 壽美代
中村 咲子



新任・OB・OGの皆さん
日時：毎月第3水曜日 10時~
対象：更生保護関係者

編集後記

『正月は冥土の旅の一里塚』

この言葉は一休禅師のお言葉で、数え年で歳を数えていた
昔は、正月に共に一つ歳をとることから、家族や友人と祝つ
たものです。

しかし、歳をとるといふことは死が近づくことでもある
と、世の無常をあえて、正月に説いてお聞かせになった。
と、お聞かせいただいています。

令和六年は、元日から能登半島の震災で沢山の方々がお亡
くなりになるといふ、悲しい年の始まりとなつてしまいまし
が、皆様方には健康にご留意をいただき、一日一日を大切に
ご活躍ください。

O・S